

実践年度・タイトル		平成(26)年度 ----- 「NEW文房具を考えよう」(アントレプレナーシップ教育)
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	NEW文房具を考えよう
	授業の目標	文房具の調査と分析を行い、グループでアイデアを出しながら「NEW文房具」を企画する。 グループの提案をプレゼン・ポスターセッションなどで交流し合い、最終的にまとめた企画を聞く人にうまく伝える。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (1・2・3)年 (38)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input checked="" type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input checked="" type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ----- 新しいことに挑戦することができる。 友だちとの適切なかわり方を身につける。 自分の意見や思いを集団の中で発表することができる。 異学年や接したことのない友だちと話すことができる。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	・PC ・TPC ・WEBカメラ ・TV会議システム・協働学習システム(コラボノート) 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ----- TV会議システムで本校と分教室・病室をつなぎ、離れていても同じ授業に参加する。 協働学習システムで感想などを入力し、お互いの感想・意見を共有する。
授業に授業展開の支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	指導計画(全30時間) 本時 17時間目 ・グループで考えた「NEW文房具」の中間発表をする。 ・グループ内で役割分担を明確にし、発表する。 ・評価を聞く。 ・相互評価をする。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	感想や意見を記入する時、コラボノート上にある他生徒の記入内容を見て、「このような内容のことをかけばいいんだ」と気づき、記入できる生徒がいた。 病室から参加することで、孤立感を和らげることができた。 発表できたことで、自信がついた。 グループで企画した「NEW文房具」を、伝える相手を意識し工夫して行うことができた。 他のグループの発表をよく聞き、感心する点・良い点などを聞きとることができた。